

内服シタラビン療法

ID

患者名

身長 cm

体重 kg

体表面積 m²

初回 ・ 継続 (前回 /)

印

印

血液内科

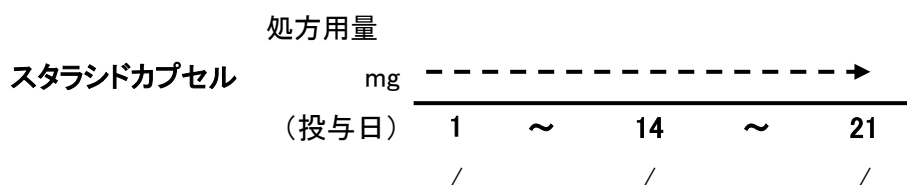
成人急性非リンパ性白血病、骨髄異形成症候群

★投与量

計算値

スタラシドカプセル 100～300mg/body mg 経口投与 分 1～3 食後 Day1～14(又は 21)

★ 投与スケジュール…1クール 28～42 日



次回クール

28 日: /

42 日: /

★ 注意事項

- ・ 成人急性非リンパ性白血病: 100～300mg/body
- ・ 骨髄異形成症候群: 100～200mg/body
- ・ 骨髄抑制等の重篤な副作用により減量、休薬、中止することあり
- ・ 疾患、症状等により適宜増減する

〔スタラシド〕

- ・ 薬物動態及び臨床試験の成績から 2～3 週間連日投与により効果が発現されることから、寛解導入療法などの強力な化学療法が対象となる患者には本剤の投与は避け寛解導入療法を優先的に実施すること
- ・ 原疾患による骨髄不全に伴う出血症状の憎悪が起こることがあるので、出血の有無の確認、血液検査、臨床症状の観察を十分行うこと
- ・ 骨髄抑制等の重篤な副作用が起こることがあるので、頻回に臨床検査(血液検査、肝機能検査、腎機能検査等)を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には、減量、休薬、中止等の適切な処置を行うこと。また、使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、遷延性に推移することがあるので、投与は慎重に行うこと
- ・ 感染症の発現又は憎悪に十分注意すること